

総務文教委員会会議録

1. 開催年月日

令和2年5月14日 開会 9時58分 閉会 11時10分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

上野安是 妹尾文彦 山下憲雄 荒木謙二
柳井一徳 坊野公治 宮地俊則

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 事務局職員

事務局長 和田広志 事務局次長 藤原靖和
主任主事 塩出英也

6. 傍聴者

(1) 議員 0名
(2) 一般 0名
(3) 報道 1名

7. 発言の概要

委員長（上野安是君） それでは、委員全員おそろいですので、ただいまから総務文教委員会を開会いたします。

〈議長あいさつ〉

〈(1) 議会への提案について〉

〈別紙のとおり、回答案を決定〉

〈(2) その他〉

委員長（上野安是君） さきの令和2年2月定例会では、所管事務調査事項ではありませんでしたけれども、執行部のほうから新型コロナウイルスに関しての報告ということでございました。

6月8日定例会の開会日でありますけれども、そこで行う常任委員会において所管事務調査事項について議長に報告する必要がありますので、せっかくお集まりいただきましたので、事前に総務文教委員会で協議して所管事務調査事項の内容とか、素案をどういうふうで作成するかということを決められればなというふうに思いますが、何か委員の方から所管事務調査事項についての提案がございましたら、ご発言を願いたいと思います。当然、当日でも構いませんのですが、前もってもし聞いておけば少しでもスムーズにいくかなと思っております。

委員（宮地俊則君） 固まっておらないんですが、総務文教委員会ということで、学校関係で新型コロナウイルスの対策の延長なんですけども、きょう緊急事態宣言が解除されたわけなんですけども、いろいろ考える中で、この学習のおくれをどう取り返していくのかなということで一番、目に見えるのが夏休みの短縮といったこと、これは一般質問でやろうかなと思ってることでもあるんですけれど、夏休みの短縮、幸い本市はエアコンが完備されてますから、ただその間に給食はどうするんだろうか、できるのかできないのか、やるとしたらどの程度できるのか、市の考え、それからまた空調はできてますけど、密閉しないようにということを考えれば、換気のこと考え、換気すると暑くなると、そこら辺をどういうふうな使用方法で対応されるようにしてるのかというのは子を持つ親御さんたちの一番の関心事であろうと思います。これ一般質問でしょうかなと頭の中をよぎっておるんですが、委員会の所管事務調査にしてもいいのかなと。また、これから、先どうなるかわかりませんから、不確定要素が多過ぎますんで、このまま鎮静化すると今言ったような方向に行くのではないかなと予測されますので、このまま鎮静化して解除され、夏休みを短縮して授業のおくれを取り戻すべく学校が対応されるのであるならばという前提で、その対応の方策をお尋ねしたいなと。

委員（山下憲雄君） これは、皆さんがどうお感じになってるか、私も問いながらの発言なんですけども、岡山県立井原高等学校及び興譲館高等学校定員割れ、ここを続けておるのが

実態だというふうに思います。井原市は井原市立高等学校とってまさに市でもってコントロールというか運営ができる学校なわけです。この学校をどういうふうにしていこうとしているかということについて、これから先の対策について少子化の中で余り見えてない部分がありますので、我々のほうから何かそういうことを具体的に考えて提案まで持っていけるようなところがあるのかなのか、ちょっとテーマが大き過ぎるのはどうかと皆さんがお考えになってることがあったら教えていただきたい。

委員（柳井一徳君） まず、所管事務調査事項で政策提言へ持っていくことは無理、来年の春に改選がありますので、無理で私は宮地委員が今おっしゃられたような新型コロナウイルスの対策、これは確認をしていく必要はあるし、また対応をどのように考えているのかということは市民に知らすべきことであろうと思います。公共施設等に関しては閉鎖解除とか、いろんなことで情報が流れておりますけれども、例えば私は孫娘が今中学校3年生なんですけど、この春が沖縄への修学旅行でした。何ら回答わかっておりません。前学校教育課長、今井課長に話をちょっと個人的に聞いたときには夏ごろを考えてるんですけど、どうなるかなというような対応です。親として見れば、金額も高いもんですから、準備期間も必要ですし、ある日突然にぽんと言われて1カ月後でいきますよというようなことじゃいかん。だから、そういうことも含めて我々がそういう対応をどのように考えているのかということは所管事務調査で上げるのが一番いいのではないかなと。山下委員がおっしゃられたのはこれは非常に大きい問題で、市立高等学校のそもそもが夜間学校で、働きながら学びましょうという立ち位置でしたから、生徒数もふえないということもありましょうし、福山市のほうからも大勢来られる、そういうことも含めて時間をかけてやらなければならない問題であろうと思います。これは改選後の総務文教委員会へ申し送りの域ではないかなというふうに思います、時期的に考えて。

委員（宮地俊則君） ありがとうございます。まだ、気持ちが決まってるわけじゃないですけど、一般質問しようかなと、その私がしなくてもほかの皆さんが逆に一般質問のほうが先にありますから、総務文教委員会よりも、どなたかされるかもしれませし、逆にその一般質問でして、さらにその深掘りをしたということでもできるかとか、今私が先ほど言いましたように夏休みのこと、給食のこと、いろいろ言いましたけれども、授業のこと言いましたけど、修学旅行に関しても、そういういろんな今後どうするんだろうというのが出てこられると思います。関連質問的なところで、所管事務調査にダブっても、一般質問にダブってもいいのではないかなと思いますので、総務文教委員会としてはこれから6月の中ごろ委員会だと思いますが、これからどうなるかわかりませんので、また流動的だと思いますので、その時点でのことは聞きたいこと、市民にお示ししなきゃいけないことという

のは山ほどあろうかと思imasので、これは総務文教委員会として所管事務調査に一つ大きく変動すると内容がわからぬので、読めませんので、質問事項を細かくまでいきますんで、学校教育現場における新型コロナウイルス対策についてぐらいでタイトルとしてはいかがでしょうか。

委員（柳井一徳君） 学校教育現場における対応、新型コロナウイルス対策。

委員（宮地俊則君） 学校教育現場といたら修学旅行は入らんのかということになるけど。

委員（柳井一徳君） 学校教育現場でええんじゃないですか。

委員（坊野公治君） 先ほど言われたように修学旅行もあると思いますし、例えば部活動に関しても、インターハイも中止になったぐらいじゃけえ、多分全中の大会も全国大会も…

委員（荒木謙二君） 全中の大会はもう中止です。

委員（坊野公治君） もう中止でしょう。

委員（荒木謙二君） 県の大会はまだ。

委員（坊野公治君） そうなったときに、代替えの大会なんかは、多分これから先、県とかがもしできるのであれば考えるということもあるんですけども、部活動に関しての今後の取り組み方とか、そういったことも含めて、今、井原市の教育委員会が考えていることをお聞きするという形で、授業日数のこともあると思いますし、例えば夏休みはどういうふうにするのか、保護者から聞くのはもしかしたら夏休みないんじゃないか、全部行くんじゃないという話にもなったときに、そういった今把握してる限りのことしか答えれないと思いますけれども、それも多分流動的に変わってくると思いますし、ですからその辺のことを総括というかトータル的に聞ければなど。

委員（妹尾文彦君） 私も同じ意見でして、新型コロナウイルスの学校の対策とかというのは気になるんで一般質問しようかなとも思っていたりもするんですけど、多分皆さんいろんな方がされると思うんですけど、その後この所管事務調査でまたしっかり深掘りをしていくっていうのは宮地委員が言われように、それがいいんじゃないかというふうに思います。所管事務調査の内容を詰めたものを最初に決めなきゃいけないんですかね。できればそのときにもうちょっと追加で質問したいことが出てきたりするんですけども。

委員長（上野安是君） きょうやらさせていただいたのは、少しでも早目に動いとったほうが、しっかりした質問もできるし、しっかりした回答ももらえるんじゃないかなということで、今皆さんがお話ししていただいとおりで十分だろうとは思imasので、あと個別には事務局のほうに、用紙もきょうお渡ししてありますから、それに基づいて提出していた

だいてという、例えば一番今言った質疑事項ですね、タイトルのほうは新型コロナウイルスにどういふふうに対応していくかというような格好になろうとは思いますが、執行部への質疑事項でこういうことを聞きたいです、ああいうことを聞きたいというのが10でも20でもあれば、それはそれだけ回答のほうがしっかりともらえると思いますので、より細かにこれも聞いときたい、あれも聞いときたいっていうのを出していただいとおいたほうが調査とすればスムーズに行くのかなというふうに思っているところではあります。

それから、一般質問のお話も出ましたけれども、当然一般質問、議員個人としてやっつけられるわけですから、それはそれで何ら委員会の所管事務調査に出したからということでそれを妨げるものでもありませんし、しっかりとやっていただければいいと思います。副委員長が言ったようにそれを全部総括した後で総務文教委員会のほうがありますので、より詳しく深掘りができるのかなというふうな意味合いも持っておりますので、そういう形でやらせていただければいいかなとは思っています。今新型コロナウイルスの対応についてと、それから山下委員が言われた市立高等学校をどういふふうに考えているのかっていうことを2つ出しておりますけれども、どういふふうにいたしましょうか。それもきょうこれで決定というわけではありませんので、もしこれを今回の6月の所管事務調査としていこうというのは今委員の皆さんに考えていただいて、事務局のほうに予定どおり出していただければいいとは思っています。

〈異議なし〉

委員（荒木謙二君） どちらにしても6月8日の……。

委員長（上野安是君） 委員会ですから、その前にあれよね。

議会事務局次長（藤原靖和君） 事務局からお願いなんですけど、運用上は6月8日に皆さん持ち寄ってもらうことで問題ないんですが、極力6月8日の委員会をスムーズに進行するために、できましたら事前に取りまとめをさせてもらって、皆様方にデータでも見ていただければ、6月8日の進行がスムーズに行くのかなということを考えておりますので、ご協力いただけたらというふうに考えます。

委員長（上野安是君） 今事務局から話がありましたけど、6月8日の日にどういふふうな所管事務調査事項が出ておりますみたいな形でその内容についてどうでしょうかみたいなところまで、話ができればすぐにいい悪いとか、するしないということも含めてできると思いますので、その辺で細かなところで事務局のほうに提出していただければ委員会とすれば助かりますということよろしいでしょうか。

委員（宮地俊則君） もちろん、それで結構だと思うんですけども、もう既にきょう出すのかなと思いましたんで、先ほど来のをまとめてみても、いわゆる学校教育現場の新型コロナウイルス対応についてというタイトルで夏休みの考え方、どういうふうに、もちろんこれは新型コロナウイルスがまた第2波で大きく出たりして休校になったりすれば話は全部部活動どころじゃなくなるわけなんですけども、今いう夏休みの考え方、それから学習環境、さっき言ったエアコンだ、換気の対応、それから修学旅行の取り扱い、それから部活動について、これだけのもんが出てるわけですよ。だから、これにいろいろ肉づけしていけばいいんじゃないかなと思います。これだけでも結構ボリュームあると思いますけど。

委員長（上野安是君） そうですね。

委員（宮地俊則君） もちろんその前に総論として学校の新型コロナウイルスに対する対応の夏休みを含めて今後のあり方というのを、考え方というのをお聞かせ願うのが一番じゃないかなと思う。その上で個々に聞いていけばええと思います。

委員長（上野安是君） 今、タイトル、新型コロナウイルスの対応については、宮地委員からお話がありました4つ、夏休みどうなるのかと学習環境、エアコンとか換気とか、それから3つ目が修学旅行、それから4つ目が部活動というようなところで、それ以外にありましたら、委員のほうから事務局のほうへこれもあれもということで連絡をしていただければいいと思います。きょうのところは今4つということで出すと。ただ、出す、これはいきなり委員会でという出し方でよろしいですか、ここまできょう話をしとれば。

委員（宮地俊則君） 正式な、これはさっき言ったあれは6月8日でもいいんですよ。

議会事務局次長（藤原靖和君） 細かく言えば6月8日に。

委員（山下憲雄君） 委員会でいいんでしょう、これ。

委員（柳井一徳君） 委員会でいい。

委員（宮地俊則君） 個人じゃなくて委員会でいいんでしょう。

委員長（上野安是君） いや、今までだったら例えば何々委員から出ますよみたいな話があつて、それを委員会で6月8日の日にもんでという話で委員会の所管事務調査、それで出しましょうみたいな流れだったので、今の話でいけばもう既に全員が一致で、今回の場合はこの所管事務調査はしていこうというような流れになっていますので、そういうことで。

委員（宮地俊則君） 委員会でいいんでしょう。何か代表者みたいな個人がいるんですか。必要がない、全員がこれに……。

議会事務局次長（藤原靖和君） 今、4件だけなら、こちらでつくれます。

委員（宮地俊則君） まだまだふえる可能性がある。

議会事務局次長（藤原靖和君） それは誰かが提案をしていただく必要があるのです。

委員（荒木謙二君） だから、僕らの名前が要るわけじゃ。

〈休憩中、委員間協議〉

委員長（上野安是君） 先ほど4つの事項がありましたけれども、それに加えてというか1番目の夏休みどうするのかということとも関連しますけれども、給食をどういうふうにしていくんだろうかということも聞いておきたいという話が出ましたので、それも加えて。

委員（宮地俊則君） 済みません、一般質問で聞くかもしれません。

委員長（上野安是君） 大丈夫だと思います。一応総務文教委員会とすれば、この内容できょうのところは出したいなという話にしておきたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（上野安是君） それでは、以上で所管事務調査事項については終わります。

委員（妹尾文彦君） 市立高等学校のやつはどうされます。

委員長（上野安是君） 終わりますじゃなかった。市立高等学校の山下委員から言われたやつは、どういうふうに取り扱いましょうか。山下委員が出されれば……。

委員（山下憲雄君） いや、出さない。

委員長（上野安是君） いや、出していただいても全く……。

委員（山下憲雄君） 一般質問で聞くかどうかは検討するのは別にしても。

委員長（上野安是君） 当然所管は総務文教委員会ですので、出していただいて、また委員でそれを取り上げるかどうかということも含めて議論もできますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、きょうのところは所管事務調査については以上で終わります。

〈なし〉

委員長（上野安是君） それでは、閉会に当たり、議長、何かありましたらお願いいたします。

〈議長あいさつ〉

委員長（上野安是君） それでは、若干休憩時間が延びてしまいました。終わります。
以上で総務文教委員会を閉会いたしたいと思います。お疲れさまでした。

○ 議会への提案内容

回収場所	記入日	内 容	協議先委員会
青野公民館	4月14日	<p><提案内容> 学校給食について。 限られた予算の中で、職員の方々が工夫をこらし栄養満点の給食を提供してくださり大変感謝しています。 今後の物価の上昇や、より栄養を摂取出来るボリュームある給食の提供のため、給食費の値上げや補助額の増額を検討してはどうでしょうか。</p>	総務文教

【執行部の意見・考え方】

本市の学校給食につきましては、令和元年に定めた「井原市学校給食摂取基準」により、幼稚園児から中学生までの発達段階に応じた栄養価を満たす分量で提供しておりますが、子どもたちの成長に必要な栄養価を充足するためには、給食を残さずに食べていただくことが前提であると考えております。

子どもたちが安心・安全な給食を楽しみ、美味しく食べてもらえるよう、献立や調理方法の工夫をはじめ、苦手な食材を減らせるよう食育の充実も図っております。

こうした中、学校給食費につきましては、平成26年4月に改定以降は据え置いており、食材価格が少しずつ値上がりする中、給食費を値上げせずに栄養価を維持していくため、食材の品質や産地の見直し、入札業者を増やすことなど、価格を抑える取り組みを進めているところです。

しかしながら、天候等による野菜価格の変動などの懸念材料もあり、現行の給食費で賄えなくなることも想定されることから、今後とも状況を精査し、必要に応じて、学校長やPTA、学校医・学校薬剤師等の代表者で組織される「井原市学校給食センター運営委員会」で協議し、適切な対応を行ってまいりたいと考えております。

《回答案》 ※ 例 文 ※

この度は、井原市議会へご提案をいただき、ありがとうございます。

〇〇様からいただきましたご提案につきまして、井原市議会から回答させていただきます。小中学校の給食費についてのご意見・ご提案について、市の担当課（〇〇課62-〇〇〇〇）に確認したところ「【執行部の意見・考え方を記載】とのことでした。」

議会におきましても、市の実施する各種事業や施策に注視してまいります。

今後も市民の皆様からのご意見等を伺いながら、市政発展のため活動してまいりますので、よろしく願いいたします。